

“LOCAL”から生まれる価値が地域を変える
九州地域ブランド戦略による世界への挑戦！

地域商社協議会



九州パンケーキ

Kyushu Seven Grains Pancake Mix

有限会社一平 代表取締役 村岡浩司

宮崎が本社の老舗寿司屋（創業昭和41年）
からスタートした小さな会社です

九州の新しい食文化を創造し、人と地域を笑顔にする。



元祖シラス巻
寿司屋 一平



九州パンケーキ
Kyushu Seven Brains Pancake Mix



<出店地>

宮崎、佐賀（武雄）、福岡、熊本
台北、シンガポール

九平



合計 16店舗 ※2018.5現在

九州パンケーキ

Kyushu Seven Grains Pancake Mix

開発するにあたって考えた 3つの課題（テーマ）

- ①産地の持続可能性を生み出す事業であること
- ②世界をマーケットとした展開力を持つこと
- ③成長スピードのあるビジネスモデルであること

①産地の持続可能性を生み出す

産地や農家とのパートナーシップを1年以上の歳月をかけて開拓

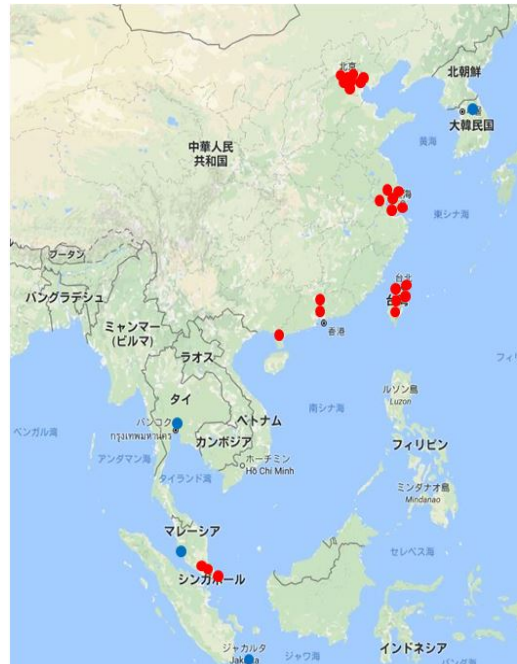
九州全県を一つに！
LOCALの魅力を詰め込んだ
オール九州の素材だけでつくる
“地産ミックス”という新しい概念



②世界をマーケットとした展開力

SOCIAL GOOD + EAT LOCAL

世界共通の食トレンドとキーワード



- 出店を予定している国(オープン店舗含む)※契約済
 - ・台湾 5店舗
 - ・シンガポール 3店舗
 - ・中国(上海/北京) 15店舗
 - ・香港 2店舗
 - ・マカオ 1店舗計 26店舗
- 出店を検討している国 ※申し込みがあった国
 - ・タイ(バンコク)
 - ・カナダ(バンクーバー/モントリオール)
 - ・韓国(ソウル)
 - ・インドネシア(ジャカルタ)
 - ・マレーシア(クアラルンプール)

SOCIAL GOOD ... サービスを通じて社会貢献活動を促進する取り組み

③成長スピードのあるビジネスモデル

“地域性を活かす”というブランドビルディング

世界共通語となった”OISHII”
スイーツカテゴリーで
世界に通用する九州ブランドを作ろう！

九州パンケーキ
Kyushu Seven Grains Pancake Mix

 OISHII



First Phase: 日本を代表するローカルブランドの地位を確立する

日本一の地産パンケーキミックス

- 2013年11月 農水省主催「地場もん国民大賞」金賞（日本一）
- 2014年2月 農水省主催「料理マスターズブランド」商品認定
- 2014年10月 農水省主催「フードアクションニッポンアワード2014」商品部門入賞
- 2015年3月 「九州未来アワード」海外事業部門 大賞
- 2015年8月 経産省主催「The Wonder 500」認定

ミックス発売2年後には
台湾へ進出（2015年1月）

日本カルチャーの優位性が高い国で成功を
収め、台北を起点にアジアを目指す。



現在の姿と展開イメージ

- ＞パンケーキミックスの国内流通 約3,000店舗（スーパー、小売店）
- ＞国内有名カフェ/ホテルへのメニュー展開 約50店舗（2017年）

- ＞九州パンケーキカフェ 海外契約数27店舗 / （内オープン数 3）
（契約締結済：台湾5,中国15,香港3,マカオ1,シンガポール3）
国内では九州を中心に展開 宮崎、佐賀県（武雄）、福岡、熊本

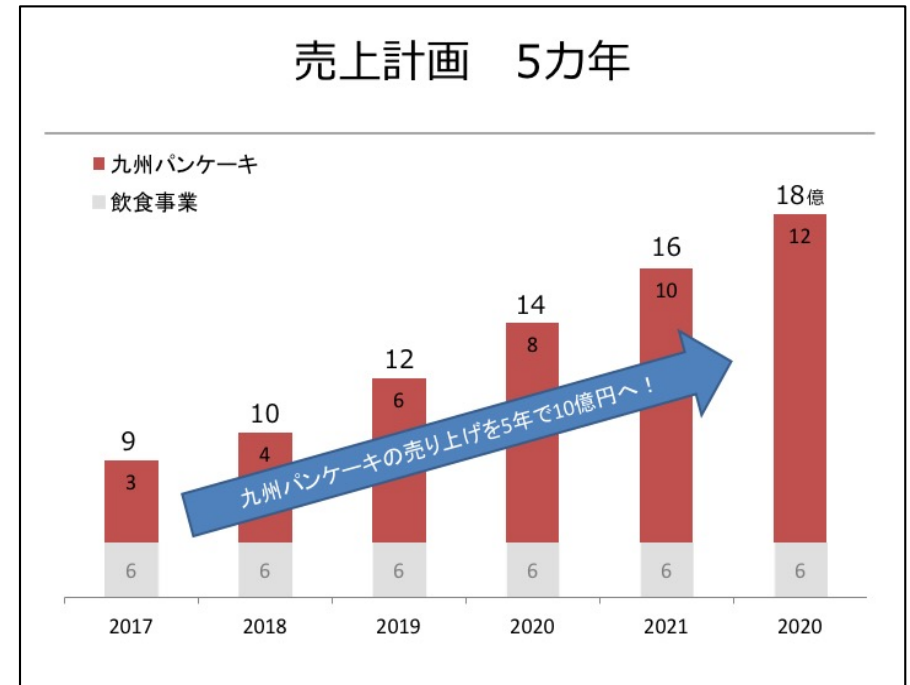
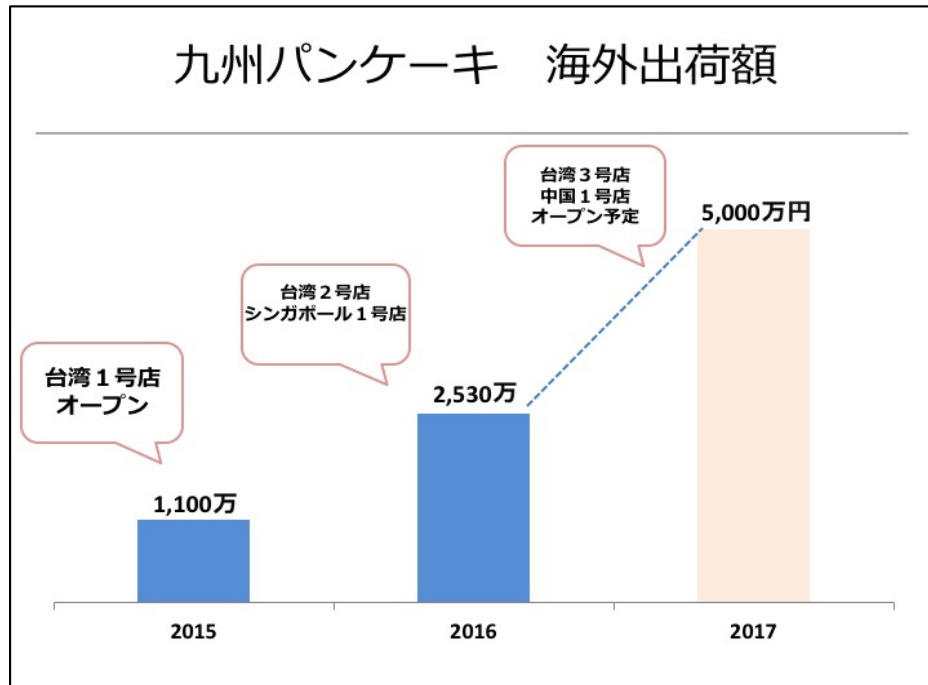
2020年までに 中国（上海）での店舗展開をスタート予定
中華圏（Mainland CHINA, HK, Macau）は台北にHQを設置
（台北の企業を広域フランチャイジーとして、Sub FCGを公募）

- ＞アジアからグローバルへの展開
2017年6月～北米（ハワイ含む）13店舗で販売開始
2018年冬 欧州での展開（EU）をスタート
（ドイツ、フランス、イギリス）

Second phase : 将来的な成長を見越した積極的な投資

持続的成長を成し遂げるための投資戦略

廃校となった小学校をリノベーションした本社ビル “MUKASA-HUB”
(研究開発、物流配送のセンター機能、グローバルマーケティング)



成長分野への投資における
地元金融機関
によるバックアップ

宮崎銀行 (宮銀ベンチャーキャピタル)
みやぎん地方創生1号ファンド 8,000万円

宮崎太陽銀行 (宮崎太陽キャピタル)
みやぎき未来応援ファンド投資事業 5,000万円
「起業家・ベンチャー企業支援に関する連携協定」締結



九州における地元創生の拠点（HUB）に

九州廃校サミット2018



自治体や金融機関との連携

九州ローカルベンチャーサミット2018 in 都城

九州豊サミット in 八代

女性起業家ビジネスプランコンテスト（宮崎銀行× MUKASA-HUB） 他

”One Kyushu“の理念のもとに
九州全域をつなぐ民間ネットワークを構築

Third phase : 世界市場で戦える九州ブランド

モデル検証

九州パンケーキカフェ

国内外でのモデル検証

九州ブランド
の横展開

九州パンケーキKitchen

”九州素材の多様性”を検証
スピンオフブランドの研究



GLOBAL

世界戦略店舗モデル/商品の開発

多面的な九州ブランド戦略で成長を目指す

ブランドの柱となるキーワード

“九州の素材だけでつくりたかった、毎日のおいしさ”



KEY Concept in Global

世界中での共通理念
(Philosophy)

“HAPPY and SMILEY”

Mug cup
Dishes
Kids plate
Promotion tools...





九州パンケーキ
食育教室
年間100回



熊本復興応援プロジェクト！



九州パンケーキカフェ（台北富錦店）
海外1号店/TAIWAN
2015年1月26日オープン

Became a No.1 popular pancake house in Taipei !





台湾2号店 (台北松菸店)



台灣全土的メディアで話題沸騰！ Talkin' all that kyushu Pancake everywhere.



What's New
撰文：林亦君 攝影：阿明祥 設計：張廷翰 翻譯：林廷賢

“九州七穀物鬆餅登台 尊重小農的溫暖好店”

去年到日本九州旅行時，無意中買到一包鬆餅粉，包裝上寫明是混合九州7個縣份生產的7種穀物製成，包括大分縣的小麥、宮崎縣綠豆的無農藥綠豆、熊本縣、福岡縣的粟米、紅糯米和鹿兒島產的梗米。跟一般美式鬆餅粉相比，多了穀物香氣，做出來的鬆餅口感也更有Q勁。沒想到這款「九州鬆餅」日前竟然躍海來台，在台北民生社區開張了專賣店。

特地到新店到台北的社長村岡浩司，老家在宮崎縣知名的「一平農用」，當農業美饌，跟日本後輩了10年的壽司師傅，後來自己創業，對美味的要求極高。他從2011年開始走遍九州親自拜訪小農，

又不斷實驗各種穀物搭配的口感，花了1年半才調出目前的完美比例。村岡現在每年生產100噸的鬆餅粉，原料依然來自當初的小農。

村岡浩司說，既然有緣來台灣開店，他就想用台灣最棒的季節水果現打成果泥，和特調的白邊糖蜜醬一起來搭配原裝鬆餅，之後也將引進到日本代官山的專賣店。我們在這裡品嚐，發現這款鬆餅不但可甜可鹹，還能做成厚片法式吐司或捲成波羅，滋味都相當出色。如果沒空到店裡坐坐，村岡建議買幾包鬆餅粉回家自己動手，尤其是有孩子的家庭，跟爸媽一起做鬆餅，絕對是給全家留存一輩子的溫暖回憶。

▲早上第一包售完鬆餅粉，吃了美饌就回家自己動手做吧！(160元/包)

▲九州原裝法式鬆餅(吐司)是鬆餅變化型，甜比鬆餅更美味。(180元/份)

▲九州七穀物鬆餅(原裝)原裝(270元/份)

▲九州七穀物鬆餅(原裝)原裝(160元/份)

▲九州鬆餅 開在台北民生社區公園旁，鬧中取靜。

▲出身宮崎的社長村岡浩司，當關心台灣農業，九州鬆餅就是源自小農。

九州鬆餅
 總店：台北市和信廣場B1B13號
 電話：02-2749-3253
 營業時間：11:00-21:00 週六、日假期休息 3000席

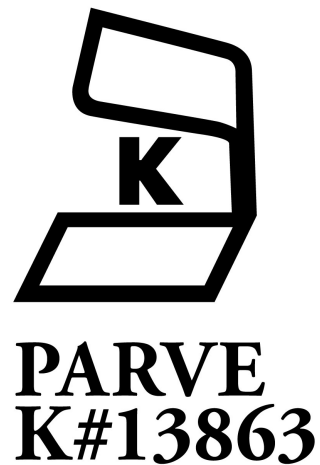
民生社區店
 電話：02-2749-3253
 營業時間：11:00-21:00 週六、日假期休息 3000席

TV、新聞、雑誌、Webメディア100を越える媒体で報道！



For the WORLD WIDE MARKET
世界戦略商品の開発

グルテンフリー
宗教対応（コーシヤ認定など）



九州素材を使った 豊富なオリジナル商品の開発 Various Kyushu original BRAND

イチジク

社内テーマ2017-2018

『GLOBAL BLAND 戦略』
世界に通用するものづくり
を徹底せよ

世界基準で求められる商品政策こそ拡大
の礎である



ラベル



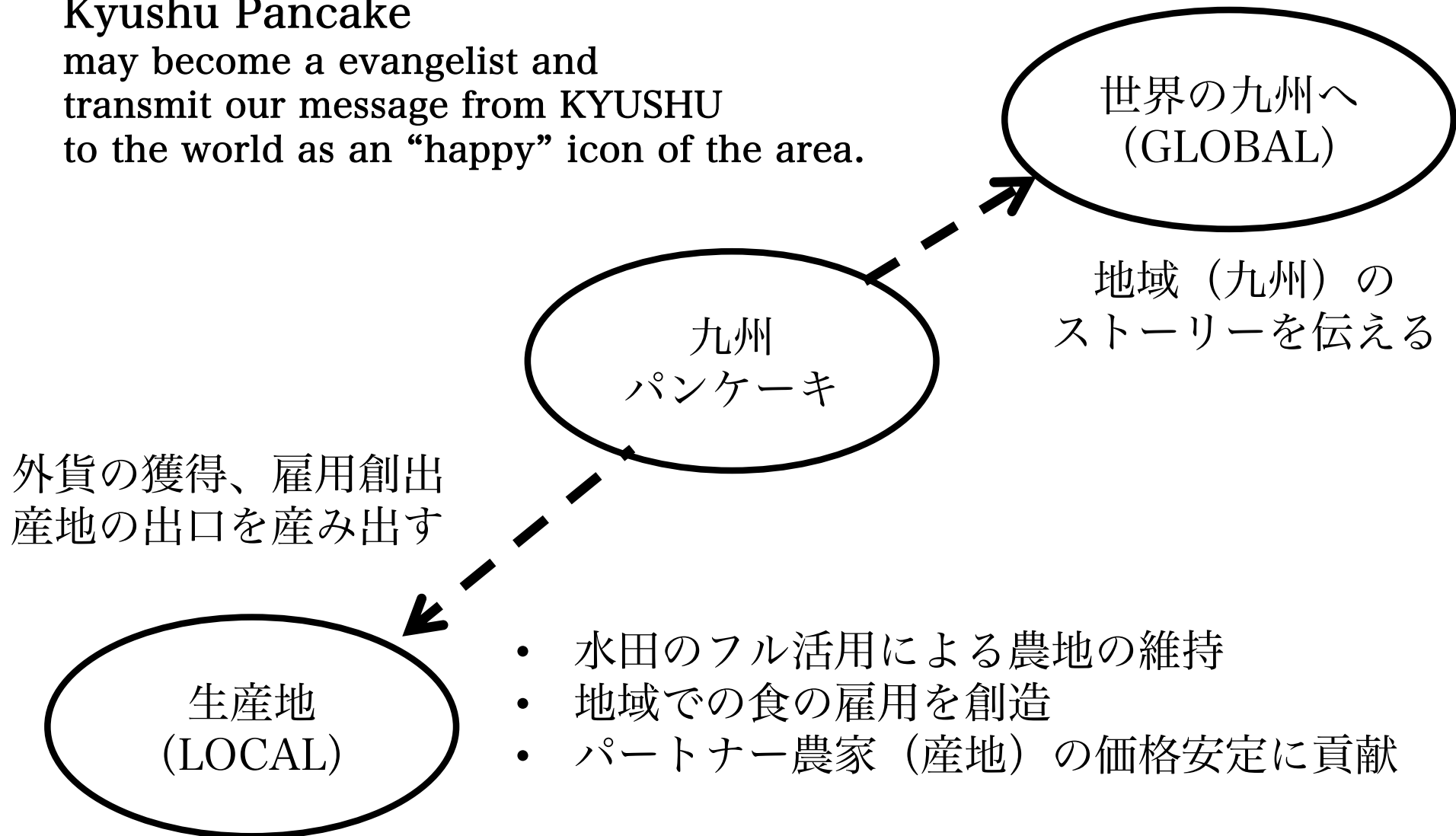
陳列時のイメージ



九州の産地や地域に向けた 経済的・社会的価値

Kyushu Pancake

may become an evangelist and transmit our message from KYUSHU to the world as an “happy” icon of the area.



ローカルビジネスの可能性を再発見する Rediscover the possibilities of local business

地域の農業資源を生かしたローカルビジネスのモデル事業となりたい

大都会や大企業が世界の豊かさを牽引していた時代が終わり、これからはローカルから個性豊かなビジネスアイデアが生まれていく。九州パンケーキはそんな時代のシンボリックなモデル事業を目指していきます。